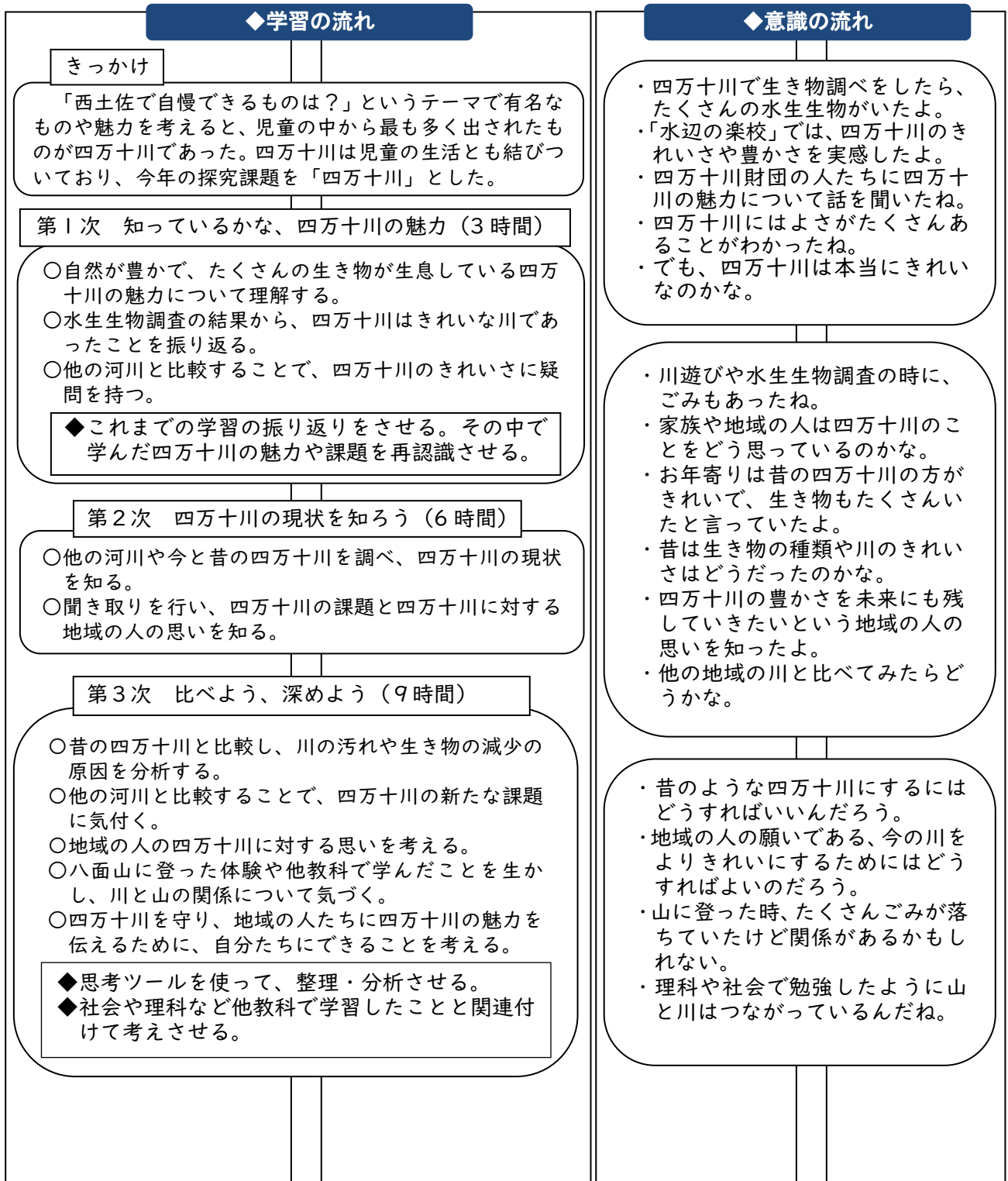
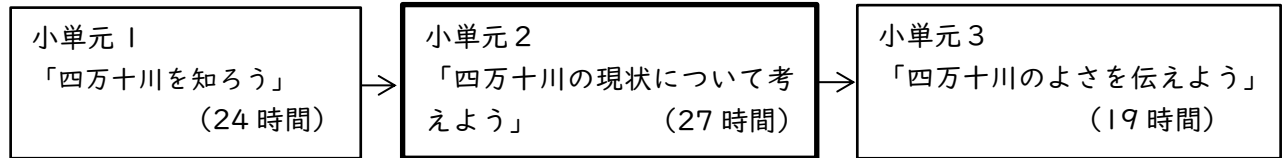


西土佐小学校 第3・4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年10月5日(水) 第5校時
 児童数 3年9名 4年7名 計16名
 指導者 依光 峰登

I 単元構想図

単元名 「すてき発見! 四万十川」 全70時間
 小単元2 「四万十川の現状について考えよう」(27時間)



第4次 四万十川のためにできることは…(9時間)

○四万十川の現状(水質の悪化、生物の減少など)について学習したことから、保全のために自分たちにできることを考える。

・私達にできることはないかな。
・川をきれいにするためにごみ拾いはできそうだね。
・自分たちが考えたことをどのように発信していこうかな。

単元でつきたい力

- ・四万十川の良さや特徴に気づき、目的に合った方法で調べ、四万十川に関わる人々の思いや願いを知る。【知識及び技能】
- ・四万十川の現状から問いを見出し、その解決に向けて話し合ったり、調べて得た情報を基に考えたりする。【思考力、判断力、表現力等】
- ・自分たちが設定した課題の解決に向けて、自分にできることを他者と協働して取り組もうとする。【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

本単元では、地域の観光資源として最も身近である「四万十川」をくわしく調べたり、まとめたりする活動を行う。四万十川は、上流に大きなダムがなく、「日本最後の清流」として全国的にも有名な河川である。沈下橋のある美しい景観、川遊びや屋形船、カヌーなどの体験、アユやウナギといった魅力的な食べ物もあり、毎年多くの観光客が訪れている。しかし、近年では水質の悪化や川底への土砂の堆積、青のりやアユ、ウナギや川エビなどの漁獲量の減少などの問題も抱えている。西土佐の人々にとって四万十川は生活と深く結びついており、児童にとっても身近な存在である。この単元で、自分たちが何気なく見ているものや接しているものの中にも、いろいろな事実や地域の人々の思いがあることを知ることができる。また、社会科での水はどこからきているのか、理科での雨水のゆくえについても学習するため、他教科との関連も図りやすい。四万十川は、昔に比べ透明度が落ちたり、水生生物の減少が見られたりするため、自然環境を保全していく必要がある。そんな課題を克服しようと市役所や四万十川財団の方などが関わって、清掃活動を行ったり、生物調査をしたりしている。自然環境についての理解を深め、環境保全の取り組みにも関わること、児童は地域の一員であるという自覚を持ち、地域を大切にすることを育むことができると思われる。

○児童観

児童はこれまでに、「河原遊び」「水辺の楽校」「水生生物調査」などの体験を行い、四万十川への興味・関心を高めてきた。「生き物が多い」「自然が豊か」「きれいな川」という四万十川の良さだけでなく、「思っていたよりもごみがある」という課題についても気づいてきた。四万十川の現状について学習し、多くの課題を知る中で、「四万十川を大切にしたい」という思いが強まり、自分たちにできることを考えていくと思われる。

5月に行った「総合的な学習の時間についての授業アンケート」から、「総合的な学習の時間は楽しい」という項目で肯定的評価が100%、「総合的な学習の時間で取り組んでいる課題を一生懸命考えている。」で84.6%という結果が出ている。児童が総合的な学習で、課題解決に向けて楽しく取り組んでいることがうかがえる。また、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある。」の項目で肯定的評価が100%、「自分の地域が好きで、大事にしたいと思っている。」「地域や人の役に立てるようになりたいと思っている。」では、共に92.3%となっており、西土佐のことを好きで、地域のためにできることを考えている児童が多いことが分かる。しかし、「総合的な学習の時間では、自分から積極的に話しかけたり、発言したりしている。」では、肯定的評価が69.2%と、自分の

考えを表現することには弱さがみられる。また、「他の教科の学習が、総合的な学習の時間の活動に役立っている。」でも69.2%と低く、総合的な学習と他教科を関連付け、他教科での学びが活かせるような学習を仕組む必要がある。

○指導観

小単元1では、四万十川について知るために四万十川財団の方の協力のもと、水生生物調査を行った。その結果、水生生物が豊富であるということ、きれいな川であることに気が付いた。児童は、四万十川には珍しい生き物も住んでいることを学んできた。

小単元2では、四万十川と仁淀川の様子や透明度を比較させ、これまで学んできた四万十川の美しさに疑問を持たせる。さらに、昔の四万十川の様子や地域の方の川に対する思いを知ることにより、今の四万十川の課題に気付き、川を大切にしていきたいという思いを強めさせる。昔の四万十川の豊かさを知っている地域の人からは、多くの課題が出されるとともに、環境保全に対する思いも挙げられると思われる。水質の悪化や漁獲量の減少などの課題を理解し、環境保全の大切さに気付かせたい。さらに、社会科や理科の学習とも関連付け、川と山との関係にも視野を広げ、豊かな川を育むためには豊かな山が必要なことを理解させていきたい。そして、四万十川を大切にするために自分達にできることを考え、四万十川を守ろうとする活動につなげていきたい。

小単元3では、これまでの学習を振り返り、四万十川についてどのように地域の方に伝えるかを考え、実行していく。伝える方法が実現可能なのか、効果的なのかということを考えて方法を絞り込んでいく。地域の方に協力してもらいながら解決させることで、地域とのつながりも大切にしていきたい。

本時では、分かったことや調べた事柄を整理し、昔と今の四万十川を比較して気付いたことから、変化の原因を考えていく。情報の整理・分析などの活動をしながら、気付いた課題や解決策を自分から積極的に発言したり、グループ内で伝え合ったりする活動を大切にしながら、児童が自分事として真剣に取り組んでいけるようにしていきたい。

3 単元の目標

四万十川の自然環境に触れる活動を通して、自然の大切さについて考えるとともに、四万十川のよさに気付き、四万十川のために自分たちにできることを考えるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
①四万十川にはたくさんの生物が生息し、周りの環境と関わって生きていることを理解している。 ②相手や場面に応じた方法で聞き取りを実施している。 ③四万十川の環境と自分たちの生活が繋がっていることの理解は、川とそこに生息する生物を探究的に学習してきたことの成果であることに気づいている。	①四万十川の自然環境を知ることから課題を設定している。 ②四万十川の現状を捉えるために必要な情報を収集している。 ③課題の解決に必要な情報を選んだり、複数の情報を比べたりしながら解決に向けて考えている。 ④四万十川の自然環境について、伝える相手や目的に合わせてまとめ、表現している。	①四万十川についての課題解決に向けて、進んで取り組もうとしている。 ②自分の考えを伝えたり、他者の考えと比べたりしながら、課題解決に取り組もうとしている。 ③地域との関わりを通して、自分でできることを見つけようとしている。

5 指導と評価の計画（全27時間 本時 11/27）

次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一 課題の設定	1 ～ 3	○四万十川が本当にきれいで豊かなのか疑問を持つ。 ・自分達が体験した四万十川の現状を振り返る。 ・他の河川と比べることや昔の四万十川の様子を知ること で四万十川の課題に気付く。		②	①	・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り
二 情報の収集	4 ～ 9	○四万十川に対する地域の人たちの思いを知る。 ・四万十川に昔から関わる人や地域の人に聞き取り、情報 を集める。 ・昔の四万十川の様子を調べる。 ・他の河川の様子を調べる。	① ②	①	②	・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り
三 整理・分析	10 ～ 18	○集めた情報を基に、四万十川の現状や課題を考える。 ・昔と現在の四万十川の比較や他の河川との比較を通し て、分かったことを整理する。（本時） ・生き物が住みやすい川について考える。 ・川と山との関係について考える。 ・四万十川の保全のために、自分達にできることを考 える。	③	① ③		・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り
四 まとめ・表現	19 ～ 27	○「四万十川を守る」という意識を多くの人にもって もらうためには、どのような方法が有効か考え、実行す る。 ・小単元をまとめる。	①	④	③	・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り

6 本時の指導

本時の目標	昔と今の四万十川の様子を比較し、整理・分析することができる。	
本時の評価規準	課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付 けたりしながら解決に向けて考えている。【思】	
情報活用能力	情報の比較や分類の仕方、観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方 法を理解する。	
準備物	短冊 付箋など	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】

<p>1. 前時までを振り返る。</p> <p>2. めあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物調査でたくさんの生き物がいたね。 ・家族は四万十川をどう思っているのかを聞き取ったよ。 ・地域の方にも昔の川の様子について教えてもらったね。 	
<p>集めた情報を整理して、気付いたことをまとめよう。</p>		
<p>3. 前時までに聞き取り、まとめたことを短冊に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物では、川がきれいだと分かったよ。 ・地域の方が昔はもっとアユやウナギがとれていたと話していたよ。 ・昔に比べて生き物の数が減っているよ。 ・家族の意見の中では、昔の川と比べてにごっているという思いがある人が多かったね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。【発言・振り返り】
<p>4. 集めた情報を分析して、川の変化の原因を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水質が悪くなることと自分達の生活には何か関係がないのかな。 ・人が使って汚れた水はどうなるだろう。 ・河原にたくさんのごみが落ちているのも見たことがある。 ・人が生き物をとり過ぎているのかもしれない。 ・山の環境が悪くなると川も汚れてくると思う。 ・生き物が住みやすい川にしていきたいな。 	
<p>5. 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇求める振り返り（目指す主体的な姿）</p> <p>◎今より昔の方が生き物が多かったので、昔のように生き物が住みやすい川にするために、ごみ拾いをしてきれいにしていきたい。（比較+目的）</p> <p>◎川を汚さないためには自分達だけで難しいこともあるので、地域の人やたくさんの人に協力してもらえるように呼びかけるようにしよう。（目的+関連付け）</p> <p>○川を汚さないように気を付けたい。（考え）</p>	

7 板書計画

